

平成24年度 第1回 経営審議会

今後の水道事業について

● 水運用計画

平成24年7月19日



長野市水道ビジョン

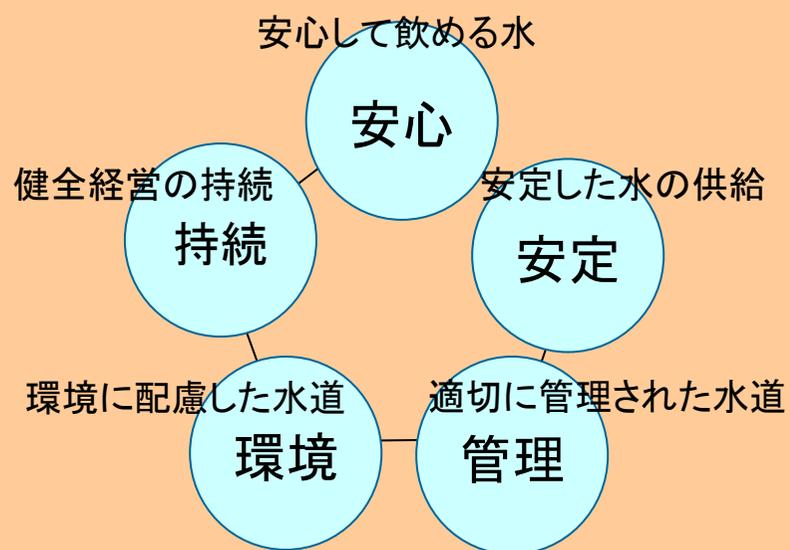
長野市水道事業の基本計画
(平成21年度～平成30年度)

本ビジョンは、上位計画である

- ・第四次長野市総合計画
- ・厚生労働省の水道ビジョン
- ・水道事業ガイドライン

に基づき策定

長野市水道ビジョン



《基本方針》

水運用計画

(1) 位置づけ

長野市水道ビジョンの施策を基本目標とした上で、**施設運用の安定化と合理化、及び維持管理の効率化を図るための計画**として「水運用計画」を策定している。

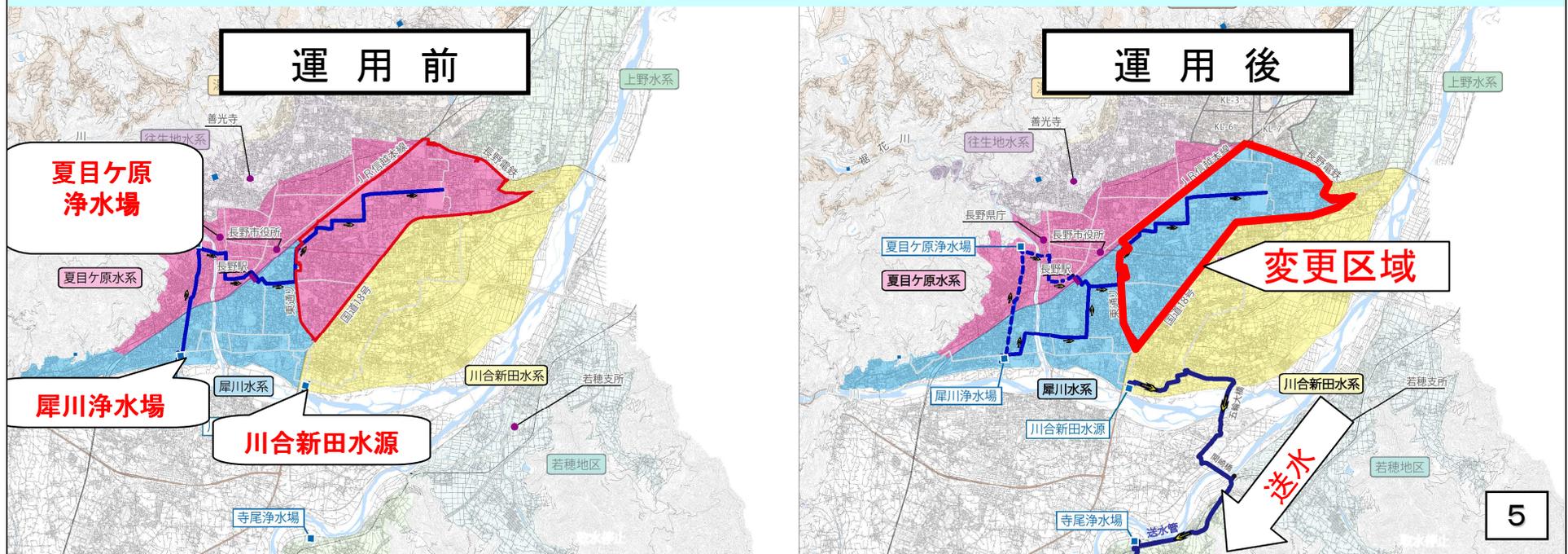
(2) 計画期間

水道ビジョンの目標年度（平成21年度～30年度 10ヶ年）に対応し平成22年度～平成30年度としている。

1 長野地区運用計画

◎ 運用ポイント

- ・ 夏目ヶ原減圧系の配水区域を犀川直送系の配水区域に変更する。【動力費等年間700万円の削減が図られる】
- ・ 川合新田系から、松代地区、若穂地区へ本格送水を行う。

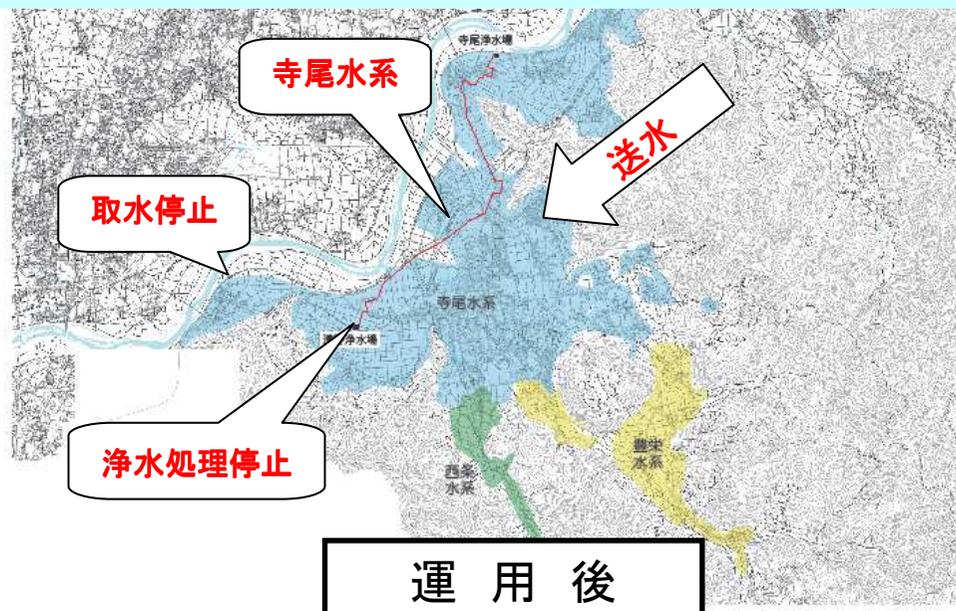


2 松代地区運用計画

◎運用ポイント

- ・ 岩野水源からの取水を停止し、清野浄水場での浄水処理を停止する。（平成25年3月末予定）
- ・ 清野系への送水は寺尾浄水場と川合新田系から補給する。

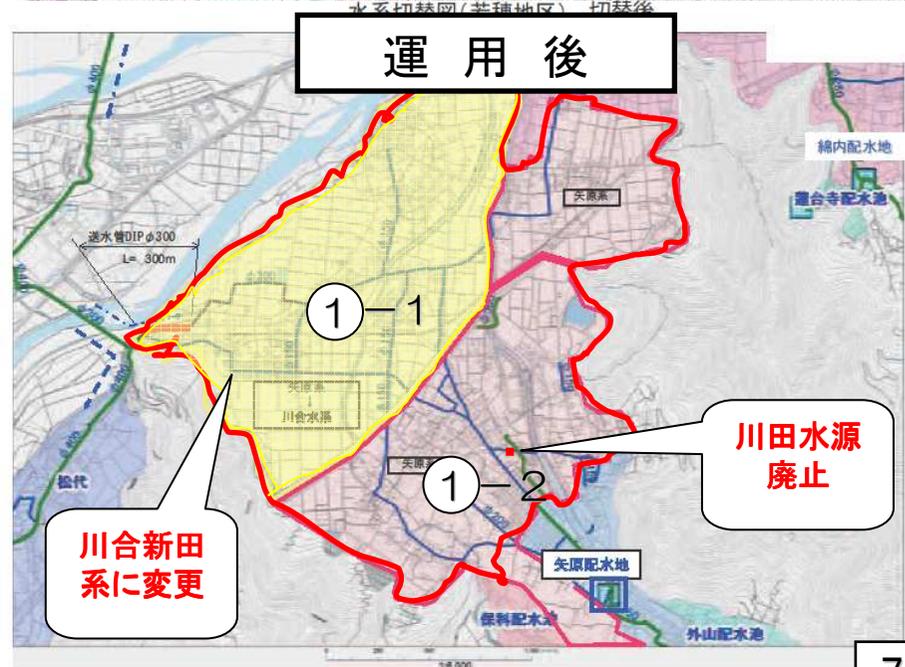
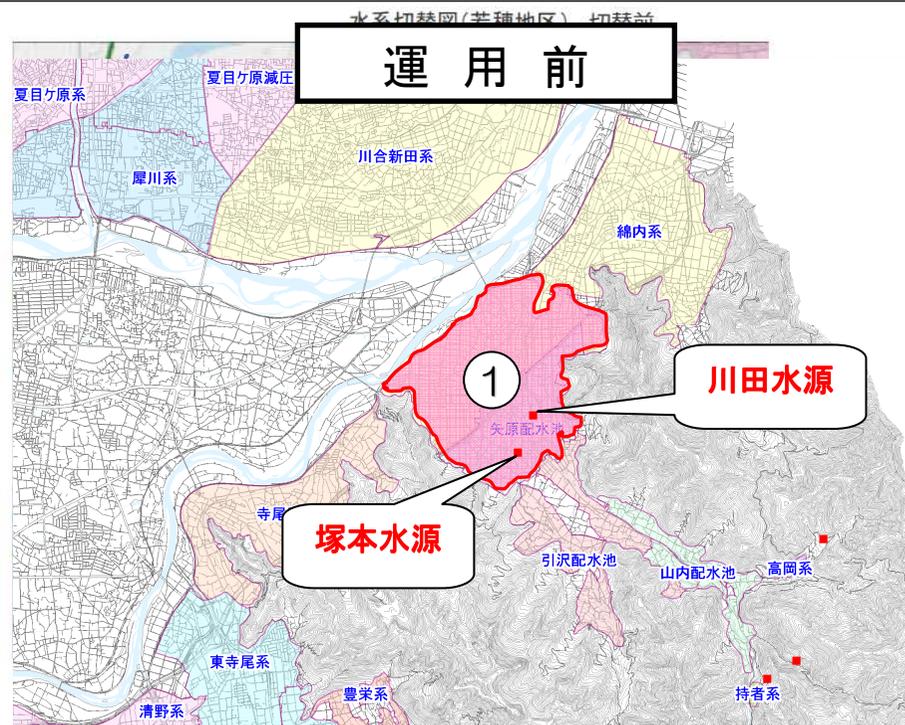
- ・ 動力費・薬品・人件費など年間7千4百万円の削減が図られる。
- ・ 施設の維持修繕費及び更新費用が不要となる。



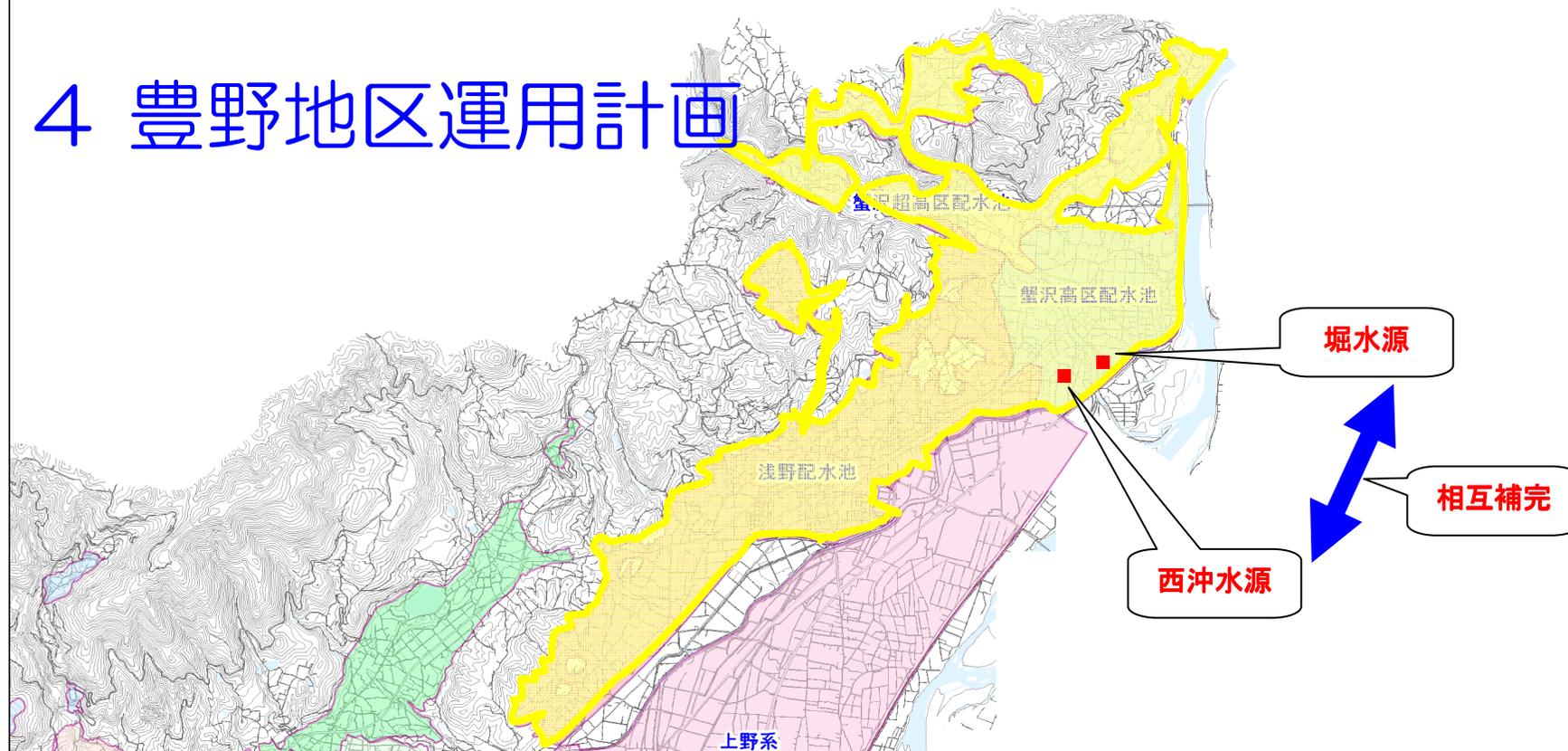
3 若穂地区運用計画

◎運用ポイント

- ・川田水源を廃止し、川合新田系からの給水に一部区域を変更する。
- ・安定供給が図られる。



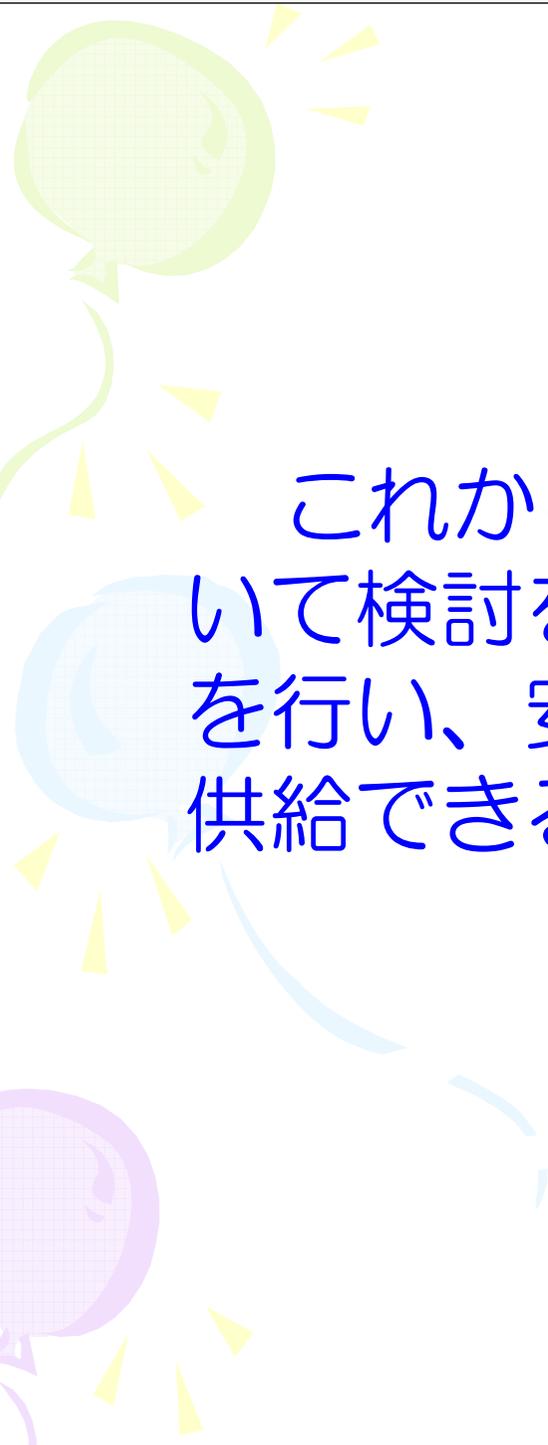
4 豊野地区運用計画



◎運用ポイント

- ・堀水源と西冲水源を、相互補完が可能な施設に整備を進める。

- ・緊急時の安全性が高まる。



今後について

これからも将来の水運用のあり方について検討を続け、より効率的な施設運用を行い、安全で良質な水道水を安定的に供給できるよう努めて参ります。